



神さまの近くで  
たいせつな願いごとは  
神社へ初詣  
感染症対策を守って

# 白山さま

令和5年 癸卯年  
初詣号

## 新年を迎える準備をお早めに

新年祈禱の期間を延長致します。混雑を避けておまいりしましょう。

### 新年祈禱の受付

密にならないように期間を延長致します。

12月1日(木)~1月31日(火) 毎日午前9時~午後4時30分

ご祈禱の席は5割程度に。1組のスペースを確保し入場制限を設けます。

### 新年のお札・お守り・縁起物・御朱印

12月1日(木)より新年のお札・お守り・縁起物・御朱印を授与致します。  
12月28日(水)よりお守り所・臨時おみくじ所を広く窓口を増やします。

お守り所の時間 毎日午前7時~午後7時

混雑する日・時間を避けた参拝にご協力をお願い致します。

## 令和5年 厄年厄祓 八方除 年祝い

白山さまは日本書紀の中で禊祓をすすめたとされ、厄をはらう厄除、八方除の神として信仰されております。

### ●厄年

肉体的にも精神的にも調子を崩しやすく、災難や不幸が身に振りかかりやすい年のことです。古くから、お正月の松の内、節分までにおはらいを受けるものと言われております。

厄年に当たる方は一年間無事に過ごせますよう、厄年厄祓をおすすめ致します。

#### [厄年に当たる年齢]男性

	前厄	本厄	後厄
大厄 42歳	昭和58年生 亥	昭和57年生 戌	昭和56年生 酉
25歳	平成12年生 辰	平成11年生 卯	平成10年生 寅
61歳	昭和39年生 辰	昭和38年生 卯	昭和37年生 寅

#### [男女共の厄]

	前厄	本厄	後厄
7歳	平成30年生 戌	平成29年生 酉	平成28年生 申
16歳	平成21年生 丑	平成20年生 子	平成19年生 亥
52歳	昭和48年生 丑	昭和47年生 子	昭和46年生 亥
70歳	昭和30年生 未	昭和29年生 午	昭和28年生 巳

#### [厄年に当たる年齢]女性

	前厄	本厄	後厄
大厄 33歳	平成4年生 申	平成3年生 未	平成2年生 午
19歳	平成18年生 戌	平成17年生 酉	平成16年生 申
37歳	昭和63年生 辰	昭和62年生 卯	昭和61年生 寅
61歳	昭和39年生 辰	昭和38年生 卯	昭和37年生 寅

### ●年祝い

歳を重ね一定の年齢になった時に、人生の波路をはるかに越えてきたことを祝うものです。その年には無事に人生を送れたことに感謝し、ますます壮健で長生きできるよう、白山さまにお祈り致します。

#### [年祝い]

	数え年	満年齢
還暦(61歳)	昭和38年生 卯	昭和37年生 寅
古希(70歳)	昭和29年生 午	昭和28年生 巳
喜寿(77歳)	昭和22年生 亥	昭和21年生 戌
米寿(88歳)	昭和11年生 子	昭和10年生 亥

厄祓・年祝いは一般的に数え年で行います。数え年とは令和5年に誕生日を迎えてなる年齢に1歳足した年齢のことです。

### ●八方塞がり

日常生活の中での地相・家相・方位・日柄等から来るあらゆる災いが四方八方より降りかかり、どの方向に向かっても不吉な結果を招き、物事を始めるのによくない年回りと言われております。この厄年に神前でおはらいを受け、一切の災厄をはらい、開運招福、家内安全、商売繁昌を招かれますようご祈禱をおすすめ致します。

#### [八方塞がり]男女共

	前厄	本厄	後厄
10歳	平成27年生 未	平成26年生 午	平成25年生 巳
19歳	平成18年生 戌	平成17年生 酉	平成16年生 申
28歳	平成9年生 丑	平成8年生 子	平成7年生 亥
37歳	昭和63年生 辰	昭和62年生 卯	昭和61年生 寅

	前厄	本厄	後厄
46歳	昭和54年生 未	昭和53年生 午	昭和52年生 巳
55歳	昭和45年生 戌	昭和44年生 酉	昭和43年生 申
64歳	昭和36年生 丑	昭和35年生 子	昭和34年生 亥
73歳	昭和27年生 辰	昭和26年生 卯	昭和25年生 寅

※ 八方除は、厄除・厄祓のご祈禱としておはらい致します。

## 新潟総鎮守 白山神社

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町1の1  
TEL.025-228-2963 FAX.025-228-2959  
https://www.niigatahakusanjinja.or.jp/

白山神社

- お車の場合  
 ■新潟駅から...約10分  
 ■新潟バイパス桜木インターから...約10分  
 ■高速道・新潟中央インター  
 ~女池インター経由...約20分  
 バスの場合  
 ■新潟駅から市役所前下車...徒歩3分

### はつとうろう 初燈籠ご奉納のお願い

初詣より小正月迄白山さまの境内にお子様の誕生、還暦・喜寿の年祝い、商売繁昌・事業繁栄など皆様の深い思いと祈りをこめたみあかしとして、ご芳名を参道に掲げることによりご加護を頂戴し、新たな一年がより良き年となることを祈念し、ご奉納頂いております。



一対 6,000円 一燈 3,500円

●準備の都合上、12月5日(月)までに神社受付までお申し込みください。

感染症対策として  
 1月15日 善哉ふるまいはありません。 2月3日 節分 豆まき神事はありません。



# 一年の計は元旦にあり

新たな年の幸福を願うお正月。  
おはらいを受けて心身を清め、  
より良い年に致しましょう。

## 浄火

期間を延長して  
浄火を行います。  
混雑を避けて早めにお持ちください。

### 浄火のご案内

**12月28日(水)～30日(金)**  
午前9時より午後3時まで

**12月31日(土)** 午前9時～  
**1月1日(日)** 午後8時まで

**1月2日(月・祝)～5日(木)**  
**7日(土)～9日(月・祝)**  
午前9時より午後3時まで

できるもの  
お札、お守り、破魔矢、熊手、しめ縄、神棚、お人形、ぬいぐるみ、だるま、年賀状、本、のし袋、鏡もち、瓶類、紙袋・ビニール袋、封筒・包装紙、お持ち帰りください。お焚き上げを安全に行うため、ご了承ください。

できないもの  
当日は天候により浄火時間の変更となる場合がありますので、ご了承ください。正月飾りの門松は1月15日(小正月)までにお持ちください。それ以降はお預かりできません。松飾り、わらのみお納めください。

90センチまで

## 大学・高校受験 合格祈願祭

白山大神さまと共にまつり致しております。学問の神さま、菅原道真公・天神さまのご利益を戴かれ、志望校への合格はもとより、資格試験や就職試験の合格をお祈り致します。

合格祈願を受けられた方には、合格お守りを授与しております。合格祈願の狛犬、太宰府天満宮の合格祈願の梅に願掛けし、願いを込めて絵馬を書きましよう。

## 家族をお守りくださる神さま。 神棚を清めてお正月を迎えましよう。

家庭や企業の心のよりどころである神棚。新年を迎えるにあたり新しいお札をおまつりし、すがすがしく新年を迎えて、新たな年の「おかげ」を授かりましよう。

神棚にお札をまつることにより、福の神を「迎え入れる」意味があるとされており、人の幸福の基である家庭の神棚には、伊勢の天照皇大神宮さま、新潟総鎮守 白山大神さま、また崇敬する神さまのお札をおまつりください。

## ただしく迎える お正月 Q&A

意外と知らないお正月の疑問に詳しくお答えします。

**Q お札・お守りは、毎年新しくした方が良いですか？**  
A 新たな一年を見守りくださいという意味から、お札・お守りは毎年新しく受けるのが日本古来のしきたりです。お札・お守りを新しくすることは、神さまが新たな「みちから」で私たちをお守りくださるということなのです。前の年のお札・お守りは感謝の気持ちを込めて神社へお納めください。

**Q お札はいつおまつりすればいいですか？**  
A 神棚の掃除をおこない大晦日三十一日にお札をまつることを、「一夜飾り」といい、神さまを迎える準備が整っておらず誠意に欠けることからよくないとされており、二十九日は「二重苦」といわれ縁起が良くありません。十二月二十八日から三十日に新年のお札をまつると良いでしょう。

**Q 古いお札・お守りはどうすればよいですか？**  
A 一年経ちましたお札・お守りは神社へお持ちください。年の終わりに受けられたものは一年数カ月後にお持ちください。宿られていた神さまは浄火でお焚き上げすることにより天に帰られるとされており、

**Q 伯父が亡くなったのですが、初詣に行つてよいものですか？**  
A ご家族やお身内に不幸があった場合の忌の期間は、最長で五十日となります。亡くなられてから五十日が過ぎれば、例年通り初詣のおまいりやご祈禱を申し込まれても全く問題ありません。また神棚のお札を新しいものに替えて頂いても問題ありません。



しんしゅんはつみかぐらぎとう

# 新春初御神楽祈禱

密にならないように新春祈禱の期間を延長致します

12月1日(木)より1月31日(火)まで新春祈禱を行っております

12月31日(土)より1月5日(木)まで、一組のスペースを確保し  
人数制限を行い、ご祈禱を行っております。

## 疫病退散

## 大祓人形

新たな年を迎えるために  
人形で心身を  
はらい清め  
ご家族の健康を  
祈りましょう。



大祓人形は、ご自身で心、身体をはらい清め、浄化し、リフレッシュした心、前向きな力を頂ける、誰にでもできる行事です。古くより、災いははらい清めることよって、除災招福が叶うとされてまいりました。災いをはらい、福を招き入れる、そして、リフレッシュした心、前向きな力を手に入れる神事であり、心と身体がきれいであれば、幸福やしあわせも招きやすく、より多くの幸運が訪れることでしよう。  
※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

## 1月新年祈禱 混雑予想

日	時	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1月1日(日) 先負											
1月2日(月・祝) 仏滅											
1月3日(火) 大安											
1月4日(水) 赤口											
1月5日(木) 先勝											
1月6日(金) 友引											
1月7日(土) 先負											
1月8日(日) 仏滅											
1月9日(月・祝) 大安											
1月10日(火) 赤口											

1回の  
おはらい時間  
の目安  
■ 20分  
■ 30分  
■ 40分

4日(水)、5日(木)は仕事始めのため混雑が予想されます。なお、コロナ感染対策のため人数制限をさせていただきます。お待ち頂く時間が長くなる場合がございます。ご協力をお願い致します。12月31日(土)から1月1日(日)は夜通しご祈禱を行っております。神社駐車場は6日(金)よりご利用頂けます。

※1月11日(水)は工始祭のため、10時30分の次の祈禱は11時40分頃のご案内となります。

## 正月ご祈禱・人形 受付時間

12月1日(木)～30日(金)  
午前9時～午後4時30分まで

12月31日(土) 午前9時～  
午後9時～午後5時まで

1月2日(月・祝)～5日(木)  
午前9時～午後5時まで

1月6日(金)以降  
午前9時～午後4時30分まで

車のおはらいは7日(土)より行っております。

一、新春初御神楽祈禱お申し込みの方は、同封の新年祈禱申込書にご祈禱の願意(お願い事)・お名前等をご記入の上、新年祈禱初穂料を添えて、神社受付までお持ちください。

一、1月31日(火)までは、撤饌(おさがり)の内容がお正月の特別なものとなっております。また、ご祈禱の願意(お願い事)を三つまで奏上致します。

※会社・団体様の願意は二つまでとなります。  
※令和五年正月はコロナウイルス対策の為、新年祈禱の期間を延長致します。  
2月1日以降の通常期のお札・撤饌と異なります。  
一、ご都合により参拝できない方には神社にてご祈禱の上、お札・神饌(おさがり)をお送り致します。  
※詳しくは7・10ページの郵送祈禱をご覧ください。

## 御幣

感染症対策として  
玉串の代わりに疫病退散の御幣を  
捧げておまいりして頂きます。  
おはらいを受けた方に  
御幣をさしあげます。



御幣は、神さまが宿るとされ、心身を清める力があり幣串(へいぐし)とも言います。コロナウイルス対策の為、玉串の代わりにして願いを込めおまいりしてください。各位の願いを込め神さまに捧げた初詣の証として、またご祈禱を受けた証として白山さまの御力を戴いた特別な御幣を一年間神棚にまつり、日々の生活でご加護を戴きましよう。

## 正月お札・お守り・御朱印

■お守り所・御朱印の時間

12月31日(土) 午前9時～  
1月1日(日) 午後8時まで

1月2日(月・祝) 以降  
午前7時～午後8時まで

12月1日(木)より  
新年のお札・お守りを頒布しております。

12月1日(木)より  
破魔矢・熊手・干支土鈴を頒布しております。

※お札・お守りの郵送に関しては別紙のお守りカタログをご覧ください。

## 郵送祈禱のおすすめ

ご祈禱・お札・お守りは、直接神社にお越し頂き受けられる事が本来ではございますが、新型コロナウイルス感染症の懸念など直接ご参拝頂けない方、混雑を避けたい方、また諸事情によりご参拝が困難な場合や遠方にお住まいでお願い頂けない場合には、郵送による送付も行っております。

※郵便法改正に伴うサービスの見直しにより、今までよりお札・お守りのお届けに時間を要することになりましたのでご了承願います。

12月1日～1月31日 期間を延長して行いますが、  
混雑が予想される1月上旬についてご案内させていただきます。

しょうでんきとう  
昇殿祈禱の流れ

受付場所が変わりますので  
ご注意ください

神社受付 1月1日(日)～9日(月・祝)



神社受付入口 (社務所内に受付があります)

神社受付 1月10日(火)以降



神社受付 (こちらでお申し込みください)

- お願い -

- 当日お申し込みの方は、同封の「新年祈禱申込書」にご記入の上、神社受付までお申し出ください。受付が円滑に進みます。
- 新年祈禱初穂料は当日、神社受付にてお納めください(振込みでも可能です)一万円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 人形をお持ちの方は、大祓人形初穂料を添えて一緒に神社受付にお持ちください。

- 氏名等のお読み上げについてのお願い -

会社様の支店名・営業所名・従業員の方の氏名等を複数お読み致します場合は、従来初穂料三万円以上でご予約の会社・団体様に限らせて頂いておりましたが、お読み致します数により別途初穂料をお納め頂きますので、よろしくお読み致します。  
支店名・営業所名・従業員名のお読み上げは初穂料三万円からのお気持ちを頂戴しております。

同封の新年祈禱申込書にご記入ください

- お申し込みは、来社・郵送で事前にお申し込みください。
- 会社のおはらいと個人・ご家族のおはらいと一緒に受けられる方は「会社・団体用」と「個人・ご家族用」の申込書を一緒に郵送してください。
- 新年祈禱初穂料は、同封の払込取扱票にてお振込みになるか、または、当日神社受付にてお納めください。

安心・安全におまいり頂くため

感染症対策のもと、ご祈禱を奉仕致します。  
状況により対応を変更させていただきます。

① 検温・消毒

- 入場の際は必ずマスク着用にてお願い致します。
- おはらい受付入口にて検温・消毒をして頂きます。(検温の際、37.5度以上の場合、また体調のすぐれない方は入場をご遠慮頂きます)

② 受付

- 各社の担当者は、受付へ必ずお越しください。最終確認を致します。また、初穂料持参の場合、こちらでお納めください。
- 予約制となりますが、混雑時は入場を制限させていただく場合がございます。

③ 神前へ進む

- 予約頂いた時間で神前に案内致します。会社名・団体名をお呼びしますので、呼ばれた会社・団体の皆様より順に間隔をとってお進みください。時間が多少前後する場合がございます。ご了承願います。

④ ご祈禱 (神職が祝詞を奏上致します)

- ソーシャルディスタンス確保のため、神前では距離をとってお座り頂けるよう、カーペットに線をひき、一組のスペースを確保致します。また、本殿内は戸を閉め切っておらず、常時外気を取り入れ換気を行っております。あたたかくしてお越しください。

⑤ 特別な御幣でおまいり

- 玉串参拝の代わりに御幣に願いを込めておまいり頂きます。おまいり後、御幣をお持ちになり、出口よりご退出頂きます。(感染防止のため御神酒直会のご用意はございません。おさがりの御神酒をお召し上がりください)

今年も新型コロナウイルス感染症対策にご協力お願い致します

新年祈禱(昇殿祈禱)について

新型コロナウイルス感染防止の観点から、神社拜殿内及び待合室(控室)における密集を避けるため、新年祈禱については、完全予約制とし、ご参列の人数の制限をさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

ご予約のご案内

新年祈禱の期間を12月1日(木)～1月31日(火)まで延長させていただきます。

① 12月中、または1月16日～31日の期間で  
予約を希望される会社・団体の方

御社1組でおはらいをご奉仕申し上げますが、各社・団体30名迄の参列とさせていただきます。  
但し、12月中に予約が確定した場合に限ります。  
先着順となり、予約枠に限りがあります。

② 1月1日～15日の期間で予約を希望される  
会社・団体の方

ご参列いただける人数を制限させていただきます。各社・団体、5名までとさせていただきます。  
他の社員、従業員の皆様は拜殿後方(外の賽銭箱前)より各自でおまいりをお願いします。  
特に、1月4日、5日は仕事始めのため混雑が予想されます。

※①、②の期間共に、ご予約は先着順とさせていただきます。各時間帯で定員に達した際は、ご希望に添えない場合がございます。早めのご準備、お申し込みをお願い致します。  
※予約をされずに当日、神社にて直接お申し込みをされる会社・団体の皆様につきましては、待ち時間が長くなる場合がございます。

お申し込み方法

同封の新年祈禱申込書・払込取扱票をご利用頂き、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

しょうでんきとう  
昇殿祈禱

本殿に上がって、おはらいを致します

事前に、来社・郵送いずれかの方法で  
お申し込みください。

ふだもかえきとう  
お札持ち帰り祈禱(昇殿しない祈禱)

本殿には上がらず、社名入りのお札をお持ち帰り頂きます

予約にてご祈禱を申し込み、当日神社に来て本殿には上がらず、外でおまいりの後、お札をお持ち帰り頂けます。お札には社名・願意が記入されております。本殿にて予め申込内容を読み上げご祈禱致しております。

いらいきとう  
依頼祈禱(昇殿しない祈禱)

本殿に上がっておはらいを受けず、お札だけお渡し致します

おはらいを受ける時間がなく、お急ぎの方は、神社にて直接ご祈禱をお申し込み頂き、お札を受け取り、お帰り頂けます。お札には社名願意の記入はできません。後ほど本殿にて申込内容を読み上げ、ご祈禱致します。

ゆうそうきとう  
郵送祈禱

参拝ができない方に、お札を郵送致します

遠方や病気等の理由により、参拝できない方は新年祈禱申込書を神社へ郵送して頂き、振込確認後、ご祈禱を行い、お札をお送り致します。電話でもお申し込み頂けます。

新年祈禱初穂料

- 特太々祈禱 10万円 ● 特太々祈禱 5万円 ● 特太祈禱 3万円
- 特別太祈禱 2万円 ● 特別祈禱 1万円

※初穂料によってお札や破魔矢の大きさが変わります。  
※ご予約の会社・団体様のみ、お札にお名前をお入れ致します。

お願い

※お札にお申し込み頂きました社名・願意を記入致しますので、準備の都合上、お申し込み・ご予約はできませんら12月24日(土)までをお願い致します。  
※おはらいを受けられる前日・当日にご予約頂いた場合、お札にお名前を記入することができない場合がありますので予めご了承願います。名入れご希望の方は後日のお渡しになります。

12月1日～1月31日 期間を延長して行いますが、  
混雑が予想される1月上旬についてご案内させていただきます。

しょう でん き とう  
昇殿祈禱の流れ

安心・安全におまいり頂くため感染症対策のもと、ご祈禱を奉仕致します。  
当日の状況により対応を変更させて頂く場合がございますのでご了承願います。

① 検温・消毒

入場の際は必ずマスク着用をお願い致します。おはらい受付入口にて検温・消毒して頂きます。(検温の際、37.5度以上の場合、また体調のすぐれない方は入場をご遠慮頂きます)

② 受付



ご家族の代表の方、またご祈禱を受けられるご本人がお申し込みください。申込書記入所の混雑緩和のため、ご自宅にて同封の「新年祈禱申込書」を記入の上、受付までお持ちください。ご協力をお願い致します。

③ 控室にてご案内までお待ち頂きます



入場制限のため、控え室でお待ち頂きます。神前の準備ができましたら受付が済んだ方からお呼び出し、お進み頂きます。

1月4日、5日は、仕事始めのため混雑が予想されます。  
神前への入場人数を制限させて頂きます。  
お待ち頂く時間が長くなる場合がございます。

④ 神前へ進む



ソーシャルディスタンス確保のため、神前では距離をとってお座り頂けるよう、カーペットに線をひき、一組のスペースを確保致します。また、本殿内は戸を閉め切っておらず、常時外気を取り入れ換気を行っております。あたたかくしてお越しください。

⑤ ご祈禱 (神職が祝詞を奏上致します)

⑥ 特別な御幣でおまいり



玉串の代わりに御幣に願いを込めておまいり頂きます。おまいり後、御幣をお持ちになり、出口よりご退出頂きます。(感染防止のため御神酒直会のご用意はございません。おさがりの御神酒をお召し上がりください)

ゆう そう き とう  
郵送祈禱の流れ

同封の新年祈禱申込書にご記入ください

新年祈禱申込書を  
同封の返信用封筒にてお送りください

郵便局にて新年祈禱初穂料をお振込みください

本殿にて新年祈禱申込書を読み上げ、  
ご祈禱致します

お札の郵送  
(ご祈禱の領収証はお札と一緒に送り致します)

- お願い -

- 新年祈禱初穂料は新年祈禱申込書についている払込取扱票にてお振込みください。一万円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 振込確認後、お札をお送り致します。
- お札は、申込書受付後お届けまでに1週間程度かかりますので、ご了承願います。
- 年内にお札をご希望の方は、要に〇印をつけ、12月15日(木)までに神社に到着するようお申し込みの上、お振込手続きを完了してください。
- 人形をお持ちの方は、一緒にお送りください。
- 返信用封筒に現金を入れて送らないでください。

き とう  
お札持ち帰り祈禱の流れ

同封の新年祈禱申込書にご記入ください

要予約  
新年祈禱申込書を  
神社受付にお持ちになるか、  
同封の返信用封筒にてお送りください

新年祈禱初穂料は、  
神社受付にてお納めになるか、  
払込取扱票にてお振込みください

本殿にて新年祈禱申込書を読み上げ、  
ご祈禱致します

参拝日に神社受付にてお札をお受け取りください

本殿に上がらずお帰り頂けます

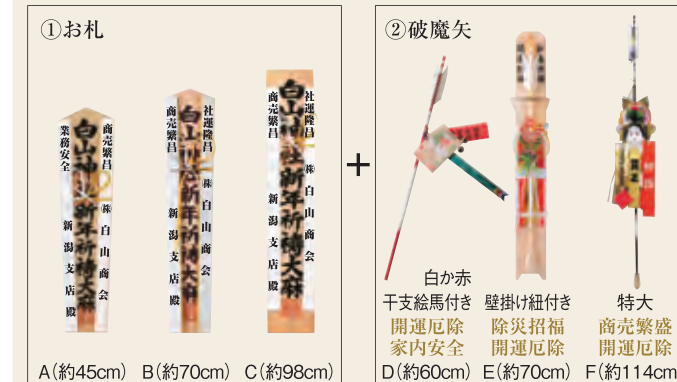
- お願い -

- お札に社名・願意を記入致しますので、ご予約が必要になります。ご予約はできましたら12月24日(土)までにお願致します。
- 新年祈禱初穂料は、一万円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 人形をお持ちの方は、大祓人形初穂料を添えて一緒に神社受付にお持ちください。

お札の種類



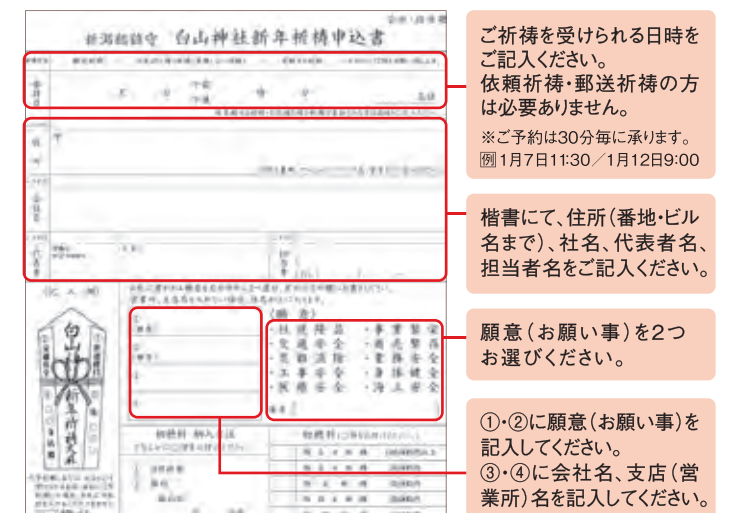
3万円以上初穂料をお納めの方



3万円以上初穂料をお納めの方は①②からお札、破魔矢ひとつずつお選びください。ご希望により45cm以下のお札に変更することもできます。  
※①お札のC、②破魔矢のFは郵送できませんので予めご了承ください。

新年祈禱申込書の記入例

ご記入頂いた新年祈禱申込書を神前で読み上げますので  
丁寧にお書きください。



※新年祈禱申込書が複数必要な場合はコピーしてお使いください。  
※ご予約された会社・団体様のみ、お札にお名前を記入致します。  
※ご予約がなく、当日お申し込みの方は、お札にお名前を記入することができませんので、予めご了承願います。  
※お札にお申し込み頂きました社名・願意を記入致しますので、準備の都合上、お申し込み・ご予約はできましたら12月24日(土)までにお願致します。  
※おはらいを受けられる前日・当日にご予約頂いた場合、お札にお名前を記入することができませんので予めご了承願います。名入れご希望の方は後日のお渡しになります。

# 個人・ご家族の新年祈禱

## 郵送祈禱

神社へ参拝されないが、おはらいを希望される方

### ■ 郵送祈禱の流れ

同封の新年祈禱申込書をご記入ください

新年祈禱申込書を同封の返信用封筒にてお送りください

郵便局にて新年祈禱初穂料をお振込みください

神社にて祈禱初穂料のお振込み確認を致します

お振込み確認後、本殿にて新年祈禱申込書を読み上げ、ご祈禱致します

新年祈禱お札を郵送致します

新年祈禱お札到着  
年末年始期間中の郵送は、お届けまでに時間がかかる場合がございます

- 新年祈禱初穂料は、新年祈禱申込書についている払込取扱票にてお振込みください。六千円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 振込確認後、お札をお送り致します。
- お札は、申込書受付後お届けまでに1週間程度かかりますので、ご了承ください。
- 年内にお札をご希望の方は、要に○印を付け、**12月20日(火)**までに神社に到着するようお申し込みの上、お振込手続きを完了してください。
- 人形をお持ちの方は、一緒にお送りください。
- 返信用封筒に現金を入れて送らないでください。封筒に現金を入れて送る事は禁止されており、神社には届きません。

さまざまな事情により参拝の出来ない方は、郵送でのおはらいも受け付けております。

### 新年祈禱とお守りを一緒にお申し込みの方 初穂料のお振込みに関する注意事項

「新年祈禱初穂料」と「お札・お守り代金」は別々の払込取扱票となります。新年祈禱初穂料とお札・お守り代金を一緒にお振込みされると入金確認ができず、お送りできない場合があります。お手数をおかけ致しますが、**新年祈禱とお札・お守りを一緒にお申し込みの方は別々の払込取扱票でお振込みお願い致します。**

### 祈禱専用払込取扱票

新年祈禱初穂料  
新年祈禱申込書についている払込取扱票にてお振込みください。

### お守り専用払込取扱票

お札・お守り初穂料 (お札・お守り代金)  
お札・お守りと一緒に届く、お守り専用払込取扱票にてお振込みください。

# 個人・ご家族の新年祈禱

## 昇殿祈禱

本殿にあがっておはらいを受ける方

12月1日～1月31日まで行っておりますので、混雑する日・時間を避けてお越しください。

### ■ 昇殿祈禱の流れ

同封の新年祈禱申込書にご記入ください (神社受付にも新年祈禱申込書があります)

#### ① 神社受付にお申し出ください

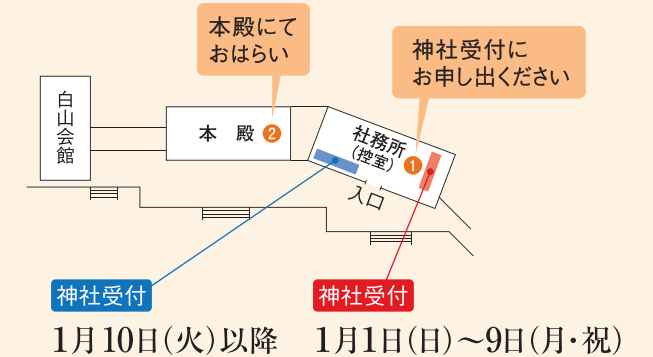
- 同封の「新年祈禱申込書」にご記入の上、神社受付までお持ちください。受付が円滑に進みます。
- 新年祈禱初穂料は当日、神社受付にてお納めください。六千円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 人形をお持ちの方は、大祓人形初穂料を添えて一緒に神社受付にお持ちください。

準備ができ次第、本殿へご案内致します

#### ② 本殿にて、おはらい(ご祈禱)

感染防止の為、御神酒直会のご用意はございません。おさがりの御神酒をお召し上がりください。

受付場所が変わりますのでご注意ください



12月1日(木)から1月31日(火)までは、正月特別祈禱と致しまして、3つの願意(お願い事)を六千円より、お受けしております。通常は、1つの願意(お願い事)につき六千円よりのお気持ちを頂戴しておりますので、ぜひこの正月に、新年祈禱をお受けくださいますようお願い申し上げます。

【例】2月1日(水)以降は、家内安全・交通安全・身体健全のご祈禱を受ける場合、願意(お願い事)が3つですので、六千円×3つで一萬八千円より初穂料(祈禱料)を頂戴しております。

## 依頼祈禱

本殿にあがっておはらいを受けず、お札だけ受け取り帰られる方

### ■ 依頼祈禱の流れ

同封の新年祈禱申込書にご記入ください (神社受付にも依頼祈禱用の申込書があります)

神社受付に新年祈禱申込書をお持ちください

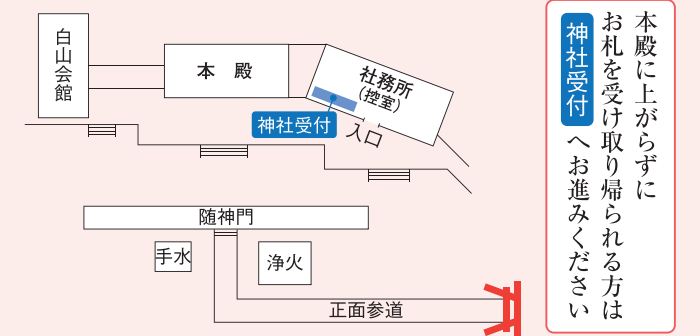
お札をお受け取りください

本殿に上がりお帰り頂けます

本殿にて新年祈禱申込書を読み上げ、ご祈禱致します

「人混みや密が気になる」「時間が無いので」など、当日、神社で直接おはらいをお申し込みになり、本殿には上がり、外でおまじりの後、お札をお持ち帰り頂けます。後日、お申し込み頂きました内容は、神前で読み上げを行います。

神社で直接ご祈禱を申し込みになり、本殿には上がり、外でおまじりの後、お札をお持ち帰り頂けます。後日、申し込み頂きました内容は神前で読み上げを行います。



本殿に上がりお札を受け取り帰られる方は、お札を受け取り帰られる方へお進みください

- 同封の「新年祈禱申込書」にご記入の上、神社受付までお持ちください。受付が円滑に進みます。
- 新年祈禱初穂料は当日、神社受付にてお納めください。六千円以上のお気持ちを頂戴しております。
- 人形をお持ちの方は、大祓人形初穂料を添えて一緒に神社受付にお持ちください。